

本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。  
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。  
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。  
あらかじめご了承ください。

# CASIO

1/100秒ストップウォッチ・アラーム

## 1298

### 取扱説明書

このたびは弊社製品をお買い上げくださり誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。

なお、この取扱説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

本機のお取り扱いで、万一、誤ったボタン操作を行っても、製品に障害を与えることは一切ありません。本機の特長、機能を十分に使いこなしていただくためにも、ご購入のゆくまでお試しください。

### ご使用上の注意

防水性 ● 表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

	BAR無し	5 BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキューバダイビング (素潜り)	×	×	○	○

- 専門的な潜水=スキューバダイビング (アクアラング) でのご使用はお避けください。
- BARは気圧の意味で、防水性の高さを表わします。
- 表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発生する場合、もしくは湿度の高い場所での使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
- 防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行わないでください。
- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
- 防水性を保つために定期的 (2~3年を目安に) なバッキング交換をおすすめします。
- 電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオサービスセンターにお申し付けください。(特殊な治具を必要とします)
- 防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態では、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。
- バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- 樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。
- 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単にふきとることができます。
- 直射日光が長く当たり、高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったりすることがあります。
- +60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。
- 低温下で使用し、ボタン部分が凍結した場合、ボタン操作ができなくなることがあります。常温に戻ればボタンは正常に作動します。
- 低温下でアラームを使用すると表示が見にくくなったり、消えたりすることがあります。常温に戻れば正常に作動します。
- 腕につけたままでもトクロス、チェーンソー、削り機などの強い振動を受けても時計には影響ありません。
- 腕につけたままでも激しいスポーツなどでのショックが加わっても時計には影響ありません。
- 磁気の影響はありません。
- 水銀や化学薬品 (シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬類、化粧品類) が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。
- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

### ■お手入れについて

- お手入れのしかた
- 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは、吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。
  - 金属バンドは、時々、部分洗いをすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。
- お手入れを怠ると
- 「サビ」
    - ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
    - ※汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
    - 表面はきれいでも、すまみに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。
  - 「劣化」
    - 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿度の高い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。
    - 「かぶれ」
      - 皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。
      - 特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをするか、金属バンドのご使用をおすすめします。
      - 万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

### ■電池交換について

- 最初の電池
- 工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
  - ※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
  - ※電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。
- 消耗
- 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
  - 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。
- 電池交換
- 電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにお申し付けください。
  - 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
  - 電池交換の際、防水検査を行ないます。(防水検査は別途有料となります)

### ■液晶パネルの交換について

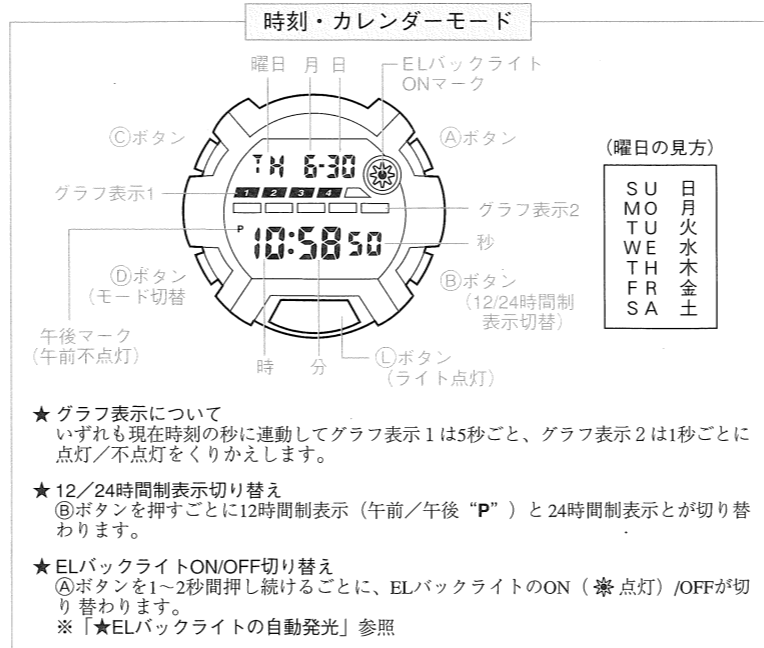
液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオサービスセンターに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

### ■ELパネル (表示照明部) の交換について

表示照明用として本機に使用しているELパネル (エレクトロルミネッセンスパネル) は、長時間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見える場合があります。このようなときにはお買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

操作のしくみと表示の見方 ……Dボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順でモードが切り替わります。※詳しくは各機能の項目をご覧ください。

#### 時刻・カレンダーモード



曜日	日	月	日
SU	日	月	日
MO	月	火	水
TU	火	水	木
WE	水	木	金
TH	木	金	土
FR	金	土	日
SA	土	日	月

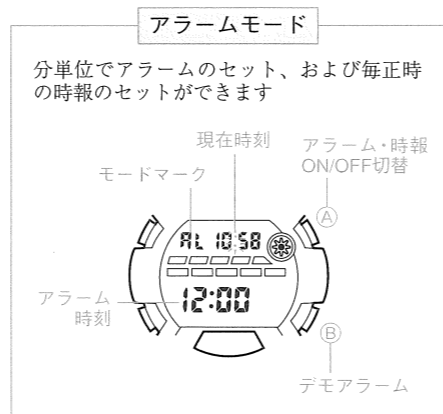
★グラフ表示について  
いずれも現在時刻の秒に連動してグラフ表示1は5秒ごと、グラフ表示2は1秒ごとに点灯/不点灯をくりかえします。

★12/24時間制表示切り替え  
Bボタンを押すごとに12時間制表示 (午前/午後 "P") と24時間制表示とが切り替わります。

★ELバックライトON/OFF切り替え  
Aボタンを1~2秒間押し続けるごとに、ELバックライトのON (点灯) /OFFが切り替わります。  
※「★ELバックライトの自動発光」参照

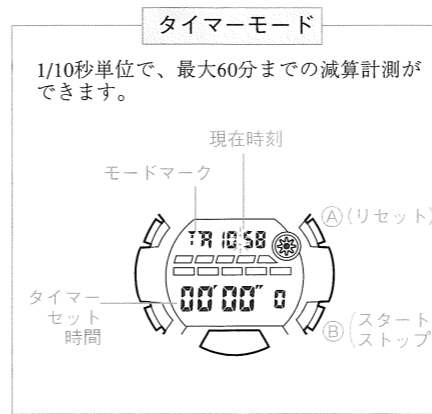
#### アラームモード

分単位でアラームのセット、および毎正時の時報のセットができます



#### タイマーモード

1/10秒単位で、最大60分までの減算計測ができます。



#### ストップウォッチモード

1/100秒単位で、23時間59分59秒 (24時間) まで計測できます。



### 秒の合わせ方 ……30秒以内の遅れ・進みの修正

月に1度くらいこの「秒合わせ」をしていただくと、時刻はいつも正確です。

- 時刻・カレンダーモードのとき、  
Cボタンを押します  
→ 「秒」が点滅します。
  - 時報に合わせて、  
Bボタンを押します  
→ 「00秒」からスタートします。
  - 秒セット後は、  
Cボタンを押します  
→ 点滅が止まります。
- ※時報は「時報サービス電話117番」が便利です。

- 秒 (時刻・カレンダー) セット状態で表示を点滅させたままにしておくと、2~3分後自動的に点滅が止まり、時刻・カレンダーモードに戻ります。
- カレンダーは大の月、小の月を自動判別するオートカレンダーですので、電池交換時およびうるう年の2月29日以外は修正不要です。

### ■表示照明用ELバックライトについて

どのモードのときでも、Lボタンを1回押すと文字板が約3秒間発光します。

※発光しているときにもう一度Lボタンを押すと、その時点から引き続き約3秒間発光します。

※なお、ライトOFF (不点灯) でもLボタンを押すと発光します。

★ELバックライトの自動発光  
ライトON (点灯) のときは、電子音報音のタイミングに合わせて自動的に文字板が発光します。  
※電子音報音 (発光) のタイミングについては各機能の項目をご覧ください。

### <ELバックライトの発光に関するご注意>

- 直射日光下では、発光が見えにくくなります。
- 電子音の報音と発光のタイミングが若干ずれることがあります。故障ではありません。
- 発光中にアラーム等の電子音が鳴ると発光を中止します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえますが、これはELパネルが点灯する際のトランスの振動音であり、異常ではありません。

### 時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで時刻やカレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

- 時刻・カレンダーモードのとき、  
Cボタンを押します  
→ 「秒」が点滅します。
  - セット箇所を選ぶ  
Dボタンを押します  
Dボタンを押すごとにセット箇所 (点滅表示) が以下のように移動します。
  - 点滅箇所のセット  
BまたはAボタンを押します  
→ Bボタンを押すごとに点滅している数字が1つつず進み、Aボタンを押すごとに1つつず戻ります。  
※B・Aボタンともそれぞれ押し続けると早送りします。
  - セット後、点滅を止めるには  
Cボタンを押します
- Dボタンでセットしたい箇所を選び、B・Aボタンで表示をセットする操作をくりかえし行ない、時刻・カレンダーを合わせてください。  
※「時」のセットのとき午前/午後(P)、24時間制にご注意ください。

## アラームの使い方 …操作のしくみにしたがって②ボタンを押し、アラームモードにします。

アラームは分単位でセットでき、セットした時刻になると20秒間の電子音で知らせます。また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。

※なお、ELバックライトON(※点灯)のときは、電子音の報音に合わせて文字板が発光します。

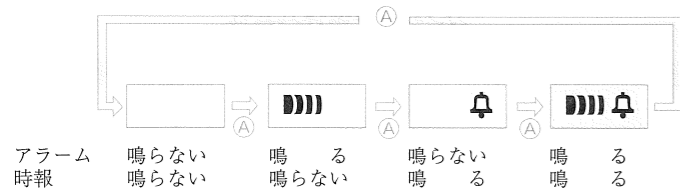
### アラーム・時報を鳴らすには

アラームモードのとき、

①ボタンを押します

①ボタンを押すごとに以下の順でアラームON/OFFおよび時報ON/OFFが切り替わります。

※なお、アラーム時刻をセットすると「mm」が点灯し、自動的にアラームONとなります。(「アラーム時刻のセット」参照)



### 鳴っている電子音を止めるには

鳴っている電子音を止めるには、②③④⑤いずれかのボタンを押します。

### アラーム音の試し聞き(デモアラーム)

アラームモードのとき、②ボタンを1~2秒間押し続けるとアラーム音が鳴ります。※ELバックライトON(※点灯)のときは、アラーム音と同時に文字板も発光します。



## アラーム時刻のセット

(1) アラームモードのとき、

②ボタンを押します

→ アラーム時刻の「時」が点滅します。

※このとき「mm」が点灯し、アラームONとなります。

(2) セット箇所を選ぶ

④ボタンを押します

④ボタンを押すごとにセット箇所(点滅表示)が「時」と「分」を移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。

(3) 点滅箇所のセット

⑥または①ボタンを押します

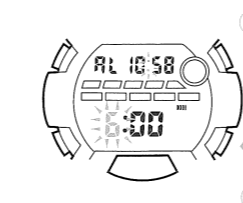
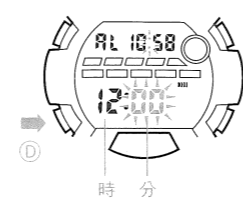
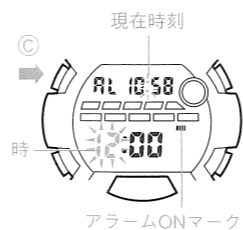
→ ⑥ボタンを押すごとに点滅している数字が1つずつ進み、①ボタンを押すごとに1つずつ戻ります。※⑥・①ボタンともそれぞれ押し続けると早送りします。

- 「時」セットのとき、午前/午後(P)にご確認ください。
- 時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制で表示されます。

(4) セット後、点滅を止めるには、

③ボタンを押します

※セット表示のまま2~3分すると自動的に点滅が止まります。



## ストップウォッチの使い方 …操作のしくみにしたがって②ボタンを押し、ストップウォッチモードにします。

本機は、1/100秒単位で23時間59分59秒(24時間計)まで計測でき、以後0に戻って計測し続けます。スタート前5秒前からスタートのタイミングを知らせるオートスタート機能や、計測中に目標タイム達成を知らせる目標タイム報知機能があります。

※なお、ELバックライトON(※点灯)のときは、電子音の報音に合わせて文字板が発光します。

### 計測のしかた

②ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします。計測中に①ボタンを押すと表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります。

※⑥・①ボタンともそれぞれ押しすと操作確認音が鳴ります。※計測値を「0H00'00"00」に戻すには、ストップ後①ボタンを押します。



### 通常の計測

スタート → ストップ → リセット

※積算計測…ロスタイムがある場合は、ストップ後リセットせずに①ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測をはじめます。

### スプリットタイム(途中経過時間)の計測

スタート → スプリット → スプリット解除 → ストップ → リセット

### 1・2着同時計測

スタート → 1着がゴール → 2着がゴール → 2着タイム表示 → リセット

### 目標タイム報知機能

目標タイムは1秒単位で23時間59分59秒までセットでき、計測中にあらかじめセットした目標タイムになると5秒間報音(ELバックライトON(※点灯)のときは文字板も発光)して知らせます。

### 目標タイムのセット

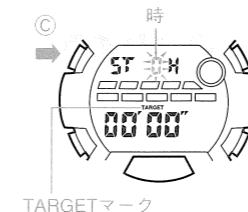
※<ご注意> ストップウォッチ計測中は、目標タイムのセットはできません。このときは、ストップウォッチの計測を終了/リセットさせてから目標タイムのセットを行なってください。

(1) セット表示にする

ストップウォッチモードのとき、

③ボタンを押します

→ 目標タイムの「時」が点滅し、セット表示になります。(TARGETマーク点灯)

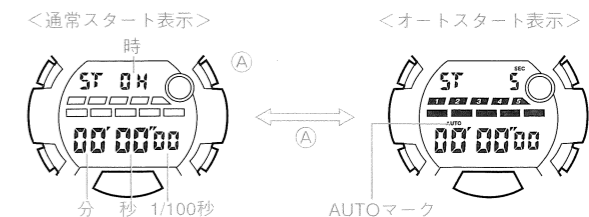


## オートスタート機能

オートスタート機能とは、スタート(計測開始)の5秒前からカウントダウンを開始し、3秒前から1秒ごとに電子音の報音(ELバックライトON(※点灯)のときは文字板も発光)で知らせるものです。この機能により、スタート時のボタン操作を行なうことなく、スタートと同時に計測を開始することができます。

### オートスタート表示にする

計測リセット時(0H00'00"00)に①ボタンを押すごとに以下のように通常スタートとオートスタート表示とが切り替わります。オートスタート機能を使用するときは、あらかじめ①ボタンでオートスタート表示(AUTO点灯)にしておきます。



### オートスタートで計測を開始する

オートスタート表示のときに②ボタンを押して計測スタートさせると、5秒前からのカウントダウンを行なってから計測がスタートします。※計測スタート後は、通常計測のボタン操作と同様になります。



★カウントダウン中に、

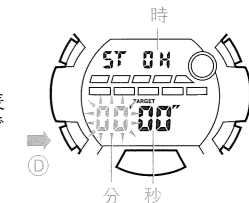
・計測を中断し、計測前の表示に戻す → ①ボタンを押します

・カウントダウンを中止し、即スタートする → ②ボタンを押します

(2) セット箇所を選ぶ

④ボタンを押します

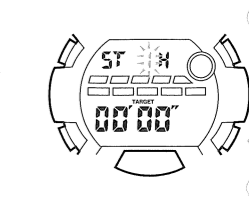
④ボタンを押すごとにセット箇所(点滅表示)が「時→分→秒」の順で移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。



(3) 点滅箇所のセット

⑥または①ボタンを押します

→ ⑥ボタンを押すごとに点滅している数字が1つずつ進み、①ボタンを押すごとに1つずつ戻ります。※それぞれ押し続けると早送りします。※⑥・①ボタンを同時に押しすと「0H00'00"00」となり、目標タイム報知機能はOFFになります。



(4) セット後、点滅を止めるには

③ボタンを押します

※セット表示のまま2~3分すると自動的に点滅が止まります。

## タイマーの使い方 …操作のしくみにしたがって②ボタンを押し、タイマーモードにします。

タイマーは1秒単位で60分までセットでき、1/10秒単位で減算計測を行ないます。セットした時間を経過すると10秒間の電子音でタイムアップを知らせます。

※なお、ELバックライトON(※点灯)のときは、電子音の報音に合わせて文字板が発光します。

### タイマーの使い方

タイマーをスタートするには、

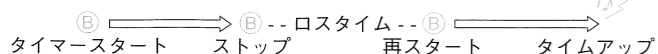
②ボタンを押します

→ 1/10秒単位で減算計測を開始します。

※計測をストップするときは、もう1度②ボタンを押します。ストップ後①ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります。

### ★ロスタイムがあるときは

減算計測中、②ボタンでストップ後、もう一度②ボタンを押して再スタートすると、表示タイムに引き続き計測をはじめます。



### ★リピート計測

タイムアップ後、自動的にセットしたタイマー時間を表示しますので、同じ時間をくりかえし計測するのに便利です。

### ★鳴っている電子音を止めるには

鳴っている電子音を止めるには、②③④⑤いずれかのボタンを押します。

## タイマー時間のセット

(1) タイマーモードのとき、

③ボタンを押します

→ タイマー時間の「分」が点滅します。

(2) セット箇所を選ぶ

④ボタンを押します

④ボタンを押すごとにセット箇所(点滅表示)が「分」と「秒」を移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。

(3) 点滅箇所のセット

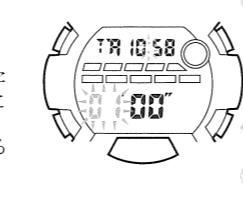
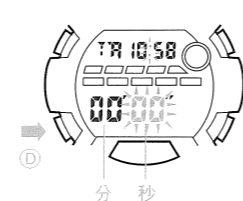
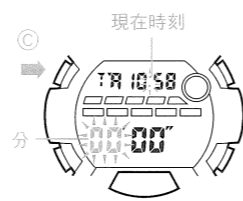
⑥または①ボタンを押します

→ ⑥ボタンを押すごとに点滅している数字が1つずつ進み、①ボタンを押すごとに1つずつ戻ります。※⑥・①ボタンともそれぞれ押し続けると早送りします。

(4) セット後、点滅を止めるには

③ボタンを押します

※セット表示のまま2~3分すると自動的に点滅が止まります。



## 製品仕様

水晶発振周波数	32,768Hz
常温携帯精度	平均月差±15秒以内
基本機能	時・分・秒・月・日・曜日 午前/午後(P)/24時間制表示、オートカレンダー
アラーム機能	時刻アラーム セット単位=分 電子音=20秒間 時報 毎正時に2回報時
タイマー機能	セット単位=1秒 計測範囲=60分間 計測単位=1/10秒 電子音=10秒間 リピート計測
ストップウォッチ機能	計測単位=1/100秒 計測範囲=23時間59分59秒99(24時間計) 計測機能=通常計測、積算計測、スプリット計測 1・2着同時計測 目標タイム報知機能、オートスタート機能
セット機能	時刻・カレンダーセット機能、秒合わせ機能(±30秒アジャスト)、目標タイムセット機能、アラームセット機能、タイマーセット機能
その他	自動復帰機能、12/24時間制表示切り替え、EL(エレクトロルミネッセンス)バックライト
主要回路素子	音叉型高性能水晶振動子 ワンチップCMOS-LSI
使用電池	CR-2016(電池別途販売) ※電池はカシオ製電池またはカシオ指定電池をお使いください。
電池寿命	約2年 (1日当たりアラーム20秒間(ライトONのとき)、ELバックライト3.5秒間を1回使用した場合) ※ただし、ELバックライトの使用条件により、電池寿命が短くなる場合があります。 ●1日当たりELバックライト3.5秒間を5回使用:約15ヶ月 ●1日当たりELバックライト3.5秒間を10回使用:約1年